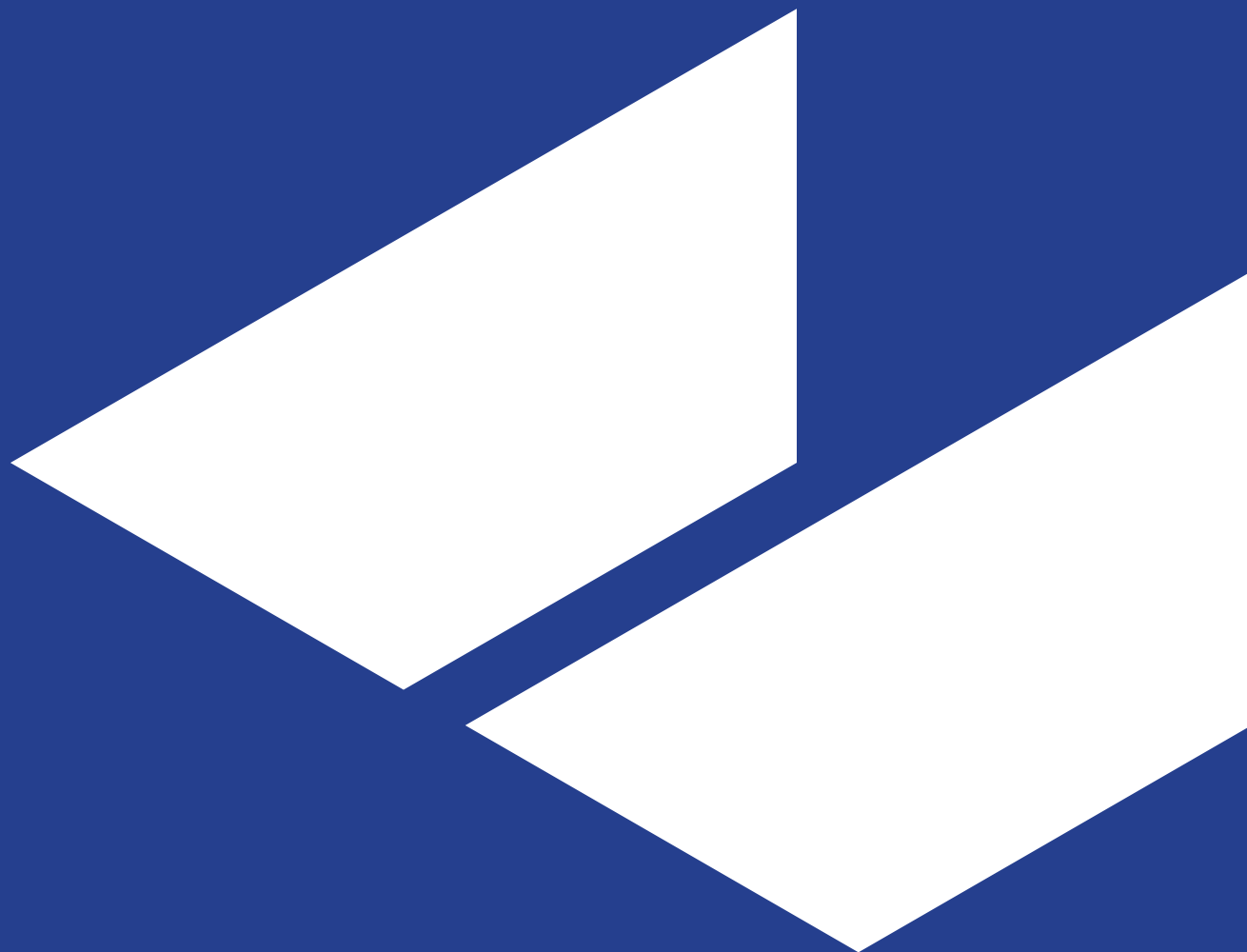


FUKUI BANK REPORT 2022

第203期
営業の中間ご報告

ミニディスクロージャー誌
2022年4月1日から2022年9月30日まで



頭取インタビュー



取締役 兼 代表執行役頭取
長谷川 英一



福井銀行の理念

「地域産業の助成こそ使命」
という創立当時の想いは、
企業理念となって現在も変わらず
受け継がれています。

コンサルティングドメインへの注力

Question

アフターコロナの状況を見据えて、今後の展望についてお話しください。

新型コロナウイルス感染の影響は一段落した感があり、次ページ以降でご案内するとおり、2022年度上期の業績は順調に推移してきたと言えます。しかし、飲食や旅行・観光関係を中心に痛手を被ったお客さまは多く、信用リスクは高まっていると見ています。また、昨今の円安や原材料の高騰など、地域経済にとっての不安要素も拡大しつつあることから、我々としてはこれまでも増してお客さまにしっかりと寄り添い、伴走していくことが重要だと考えます。

我々が展開する事業領域を、提供する価値を軸に「コンサルティング」「ユーザビリティ」「ファンダメンタル」の3つのドメインに整理してそれぞれに戦略を定めていますが、現在、最も注力していくべきと考えているのはコンサルティングドメインです。圧倒的な当事者意識を持ち、課題の発見から解決まで長期目線で伴走してまいります。そして、あらゆる課題に対して、グループの総力を結集して対応してまいります。

グループの総合力を発揮

Question

グループ会社の設立が進んでいます。その意図するところをお聞かせください。

お客さまの真の課題を発見し、解決していくためには、預金、融資、為替といういわゆる銀行の三大業務の枠に収まらない活動が求められます。そのためには専門的なノウハウを蓄積していける組織が必要なのです。当行にはすでに「福井キャリアマネジメント」や「福井キャピタル&コンサルティング」など、いくつかのグループ会社がありますが、今期、新たに観光地域商社としての活動を担う「ふくいヒトモノデザイン」と地域のDXの推進を目的とした「ふくいのデジタル」を設立しました。

新会社の設立にあたっては、4つの基準を設けました。「その事業にはお客さまの課題解決という大義があるか」「マーケットが存在しているか」「失敗しても本体の屋台骨は揺るがないか」そして「担当者が本気でやりたいと思っているか」。起業しようとするメンバーとは、この4つについて徹底的に話し合いました。とりわけ「ふくいのデジタル」については、不退職の決意を認めた37歳の若い社員を社長に抜擢しました。

「経営人財」の育成とダイバーシティ

Question

新しい課題に取り組むための人財育成の戦略についてコメントをお願いします。

銀行にはいくつもの厳密なルールがあり、ノーマスでそれを遵守する、という文化があります。それはもちろん大切に、誇るべきものでもあります。それだけではお客さまや地域に十分な価値を提供できなくなっているのが現状です。私は従来の銀行員の枠を超えるようなコンサルティングのできる人財、経営者の頭の中に入っていけるような「経営人財」を育成していきたいのです。

お客さまのニーズは多様化しています。このたび「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」を発出したのも、多様な背景を持った人がそれぞれの能力やスキル、適性を十分に発揮できる環境を整えることによって、そのニーズにお応えしていくためです。ただ、多様性とは、「なんでもあり」ということではなく、多様なバックボーンを持った人財が、福井銀行の理念と価値観を共有し、お客さまへの価値提供に全力で取り組むことのできる強い組織を作り上げることです。人財の育成と環境の整備をスピード感を持って進めてまいります。どうぞご期待ください。

Fプロジェクト Vision 2032

(2022.4-2032.3)

私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し
「地域価値循環モデル」を実現します

Slogan
チャレンジ、いいね。

[地域価値循環モデル]

生み出された価値が
新たなチャレンジに循環

[地域のチャレンジに伴走]
活力にあふれた地域の実現

CHALLENGE

[お客さまのチャレンジに伴走]
事業成長や資産形成の実現

CHALLENGE

[職員のチャレンジに伴走]
ウェルビーイングの実現

[チャレンジゴール]

ウェルビーイングを実感する
職員の比率

100%

1人あたりの福井県民所得

+100万円

福井県活力人口

100万人

連結当期純利益

100億円

※県民所得：個人や企業の所得を表す県民経済全体の所得のこと
※活力人口：[福井県長期ビジョン]で基本目標に掲げる人口の考え方。
交流人口・関係人口を定住人口に換算し、定住人口と足し
合わせた人数のこと

中期経営計画 I

(2022.4-2025.3)

長期経営計画	中期経営計画 I の戦術	中期経営計画 I のアクションプラン
ウェルビーイング実現に向けた取組み	ウェルビーイング戦術	01 役職員へのウェルビーイングの浸透
3つのドメインによる 事業展開	コンサルティング戦術(地域)	02 ネットワーク(産学官金連携)を活かした「まち・ひと・しごと」の面的支援
	コンサルティング戦術(法人)	03 伴走型支援を通じた真の経営課題の発見と解決
	コンサルティング戦術(個人)	04 ライフステージに応じたサービスの展開によるQOLの向上
	ユーザビリティ戦術(法人・個人)	05 金融インフラサービスの利便性向上とプラットフォームの構築
	ファンダメンタル戦術	06 資金運用の多様化とノウハウの蓄積
事業ポートフォリオの構築 (経営資源配分)	機能別戦術(人事)	07 戦略分野への人財配置と計画的育成
	機能別戦術(チャネル)	08 地域に根差した「ヒト×デジタル」のハイブリッドチャネルの提供
	機能別戦術(デジタル)	09 デジタル利活用による利便性・生産性の向上
	経営管理体制	10 利益・ALM・リスクの一体管理とコンプライアンス体制の高度化
	グループ体制	11 グループシナジーの最大化

[目標経営指標]

連結当期純利益

40 億円以上

連結自己資本比率

7.0 %以上

連結コアOHR

77 %以下

連結ROE

3.0 %以上

Fプロジェクト

グループシナジーの最大化

福井銀行と福邦銀行は2021年10月1日より1つの金融グループ「Fプロジェクト」としての運営を開始しました。本年4月には、10年後のありたい姿として、「Fプロジェクト Vision 2032」を策定し、グループシナジー効果の最大化を図りながら、一層の地域の持続的発展に貢献していきます。

福井銀行・福邦銀行

- 福井銀行・福邦銀行の2ブランド営業を継続し、幅広いお客さまの課題解決を支援します。
- 本部機能統合により、ヒトを中心とした経営資源を有効活用します。

グループ会社

- 高い専門性を活かして、お客さまの課題解決を支援します。
- 規制緩和の機会やグループ役職員の多様なアイデアを活かして、新分野への事業展開(新しいビジネスモデルの創造)を行います。

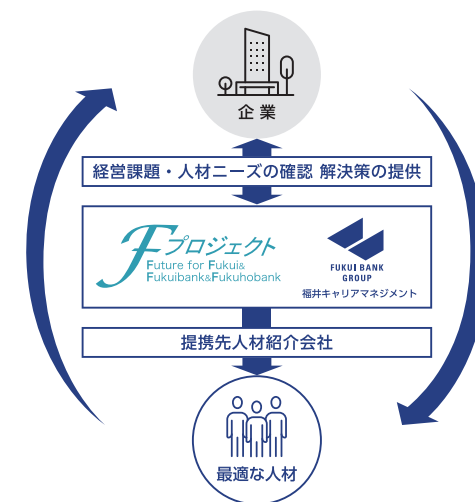
経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)をグループ内で最大限活用



グループ会社の新規設立

株式会社福井キャリアマネジメント [2021年11月12日 設立]

人材紹介に関するノウハウと情報を集約し、提携人材会社による外部ハイレベル人材や福井銀行および福邦銀行のOB・OG人材の紹介等を通じて、お客さまの経営課題解決に紐づく人材ニーズに対応し、お客さまの持続的発展、ひいては福井県の活力人口増加につなげていきます。



ふくいヒトモノデザイン株式会社 [2022年7月28日 設立]

福井銀行がこれまで培ってきた地域のネットワークを活用し、福井県内の観光地や地場産品などの地域資源の魅力・価値を高める観光事業および物販事業を行うことにより、地域経済の発展に貢献していきます。



地域とともに人と物の流れをデザインし価値を創造する

野村證券との包括的業務提携

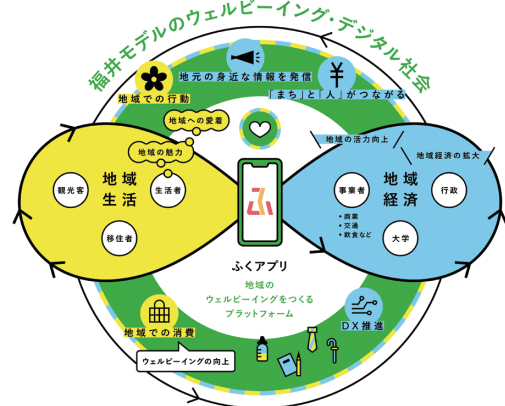
金融商品仲介業務における最終契約締結

野村證券との金融商品仲介業務※における包括的業務提携に関して、11月11日に最終契約を締結しました。福井県内に強固な顧客基盤を有する福井銀行と、金融商品取引業務に関する豊富なノウハウや商品ラインナップを有する野村證券が、双方の強みを最大限に活かしながら相乗効果を発揮することで、福井県を中心とする地域の幅広いお客さまに対して質の高いサービスをお届けし、豊かな生活や健全な資産形成の実現に貢献していきます。

※金融商品仲介業務とは、金融商品取引業者である証券会社の委託を受けて、登録金融機関である銀行がお客さまと金融商品取引業者の間に立って、金融商品取引の勧誘や仲介を行い、金融商品取引を成立させる業務です。

株式会社ふくいのデジタル [2022年9月5日 設立]

地域のDX推進を目的に、株式会社福井新聞社と共同で株式会社ふくいのデジタルを設立し、スマートフォンアプリ「ふくアプリ」の提供を開始しました。ふくアプリは、デジタル決済（地域通貨、プレミアム付き商品券等）やデジタルクーポンなどのシステムを有しており、各団体、自治体、企業等と連携しながら段階的にサービスを提供していきます。新会社は、スピード感を持った意思決定と事業推進に対応できる体制とするため、代表取締役社長に福井銀行から30歳代職員を起用しました。



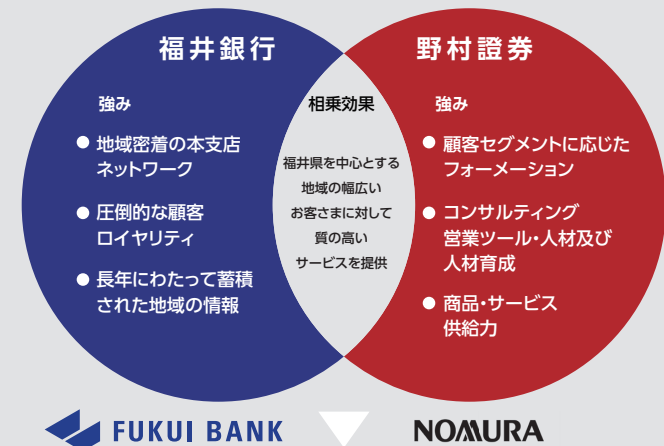
PICK UP



株式会社ふくいのデジタル
小林 拓末 社長

ふくいのデジタルでは、スマートフォンアプリ「ふくアプリ」を通じて、DXによる新たな体験価値を提供し、持続可能な地域社会・経済エコシステムを創り上げ、福井県に暮らす人々、福井県を訪れる人々のウェルビーイングを高めていくことを存在意義として掲げております。ふくいモデルのデジタル社会を実現するため、従来の地方銀行の概念や枠を超え、様々なステークホルダーのみなさまと協働し、チャレンジしてまいります！

金融商品仲介業務における包括的業務提携



地域のお客さまの資産形成を支援し、お客さまの安定した生活に貢献
福井県を中心とした地域の持続的発展に貢献
コンサルティング機能の強化、サービスレベル・お客さま満足度の向上

サステナビリティへの取り組み

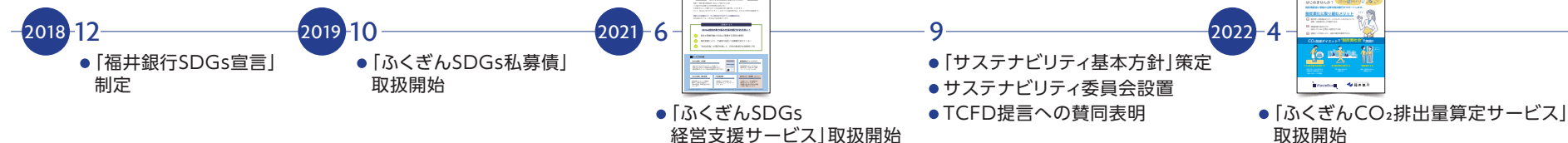
Fプロジェクトは、持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動等の環境問題など地域社会を取り巻く様々な課題解決に誠実かつ公正に取り組み、社会価値・経済価値・企業価値の向上を目指していきます。

● 地域社会への課題解決

地域社会およびFプロジェクトにとっての持続可能な成長につながる重要課題(マテリアリティ)を特定し、地域社会の課題解決に資する取り組みを進めています。

重要課題(マテリアリティ)		具体的な取り組み	関連するSDGs
E (環境) 	TCFDへの対応	● ESG投融資の拡大 ● 気候変動リスク・機会に関する情報開示 ● 自社のCO₂削減	 
	環境保全の強化	● 森林整備活動を通じた自然環境の維持と環境保全意識の向上 ● ペーパーレスの推進	  
S (社会) 	ウェルビーイングの実現	● 多様な考え方や働き方の受容 ● 職員一人ひとりの働きやすさと働きがいの向上 ● 地域・グループの持続的成長に貢献できる人財の育成 ● 健康経営の推進	    
	事業成長や資産形成の実現 活力にあふれた地域の実現	● コンサルティング機能の発揮 ● ユーザビリティの高い金融インフラの提供 ● 次世代・若年層への金融リテラシー向上支援 ● 持続可能なまちづくりの支援	  
G (ガバナンス) 	Fプロジェクトの推進	● コストシナジーの実現と適正な資源再配置 ● グループとしてのリスク管理の高度化	

● これまでの取り組み



株式についてのご案内

● 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

● 定時株主総会

6月中

● 基準日

定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日

なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座振込みをご指定くださいますと早くて便利です。

● 株式事務取扱場所、取次所

- (1) 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (2) 事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

● 公告方法

電子公告の方法により、当行ホームページに掲載いたします。(https://www.fukuibank.co.jp/)

● 株主優待制度

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された当行株式300株以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

● 株主優待制度の内容

地元福井県の特産品または社会貢献活動に対する寄付から保有株式数に応じて選択していただきます。

保有株式数	優待品または寄付
300株以上1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上	5,000円相当

※優待品の例 (写真はイメージです)



※寄付について

2022年3月31日基準日の寄付につきましては、69名の株主さまにご賛同いただき、公益財団法人 福井銀行教育福祉財団に321,000円の寄付を行いました。

● 単元未満株式の買増制度

福井銀行では、単元未満株式の買増請求のお取扱いをしております。ご所有の単元未満株式(100株未満の株式)を、買増請求により、単元株式(100株)にすることができます。

〈例〉

現在ご所有 株式	+	買増請求により 買増	=	単元 株式
80株		20株		100株

〈必要書類等〉

- 単元未満株式買増請求書・取次依頼書
- 買増概算金

● 単元未満株式の買取制度

ご所有の単元未満株式(100株未満の株式)を、買取請求により、当行が買取りいたします。

〈必要書類等〉

- 単元未満株式買取請求書・取次依頼書

単元未満株式の買増および買取制度の詳細については、お取引先の証券会社または株主名簿管理人三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせ願います。

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。
三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページアドレス
https://www.tr.mufg.jp/daikou/
(上記URLの「特別口座に関するお手続き(上場会社)」よりお入りください。
証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

〔当行株式についてのお問い合わせ先〕

☎ 0120-094-777

受付時間：土・日・祝日等を除く
平日 9:00～17:00

〔郵便物送付先〕

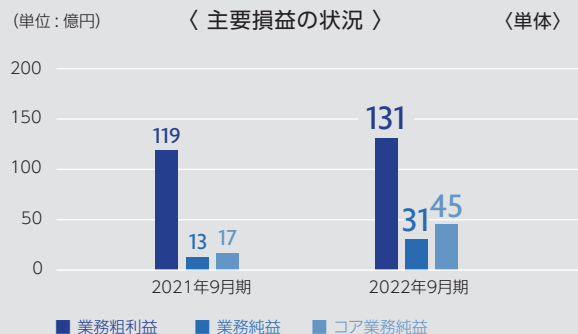
〈相続手続以外〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〈相続手続〉 〒540-8694 大阪東郵便局私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

業績ハイライト

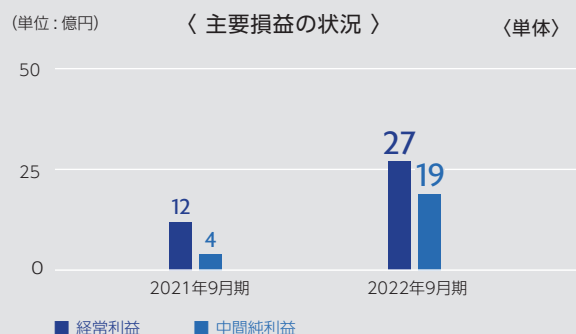
2022年9月期の決算についてお知らせします。

業務粗利益・業務純益・コア業務純益

貸出金利息および有価証券利息配当金の増加を主因とする資金利益の増加により、業務粗利益は前年同期比増加し、業務純益も前年同期比増加しました。銀行本来の業務での利益を示すコア業務純益についても、上記を主因に前年同期比増加しました。以上のことから、経常利益・中間純利益ともに前年同期比増益となりました。

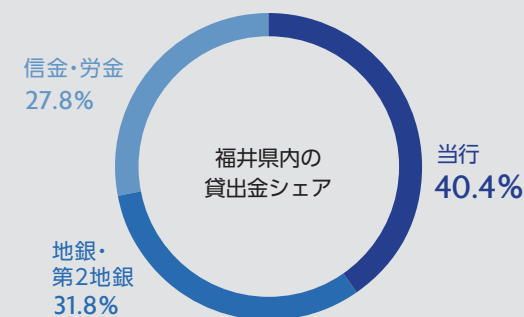
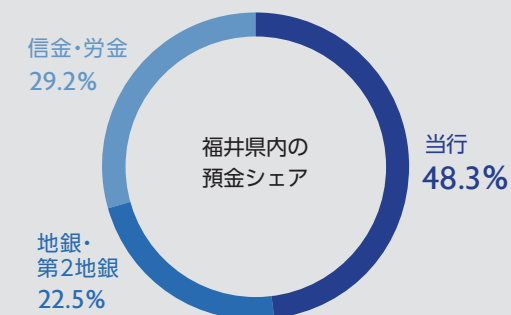


経常利益・中間純利益



預金・貸出金シェア

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っております。引き続き、地域のみならずから信頼される銀行を目指してまいります。



(2022年9月末現在)

自己資本比率 (国内基準)

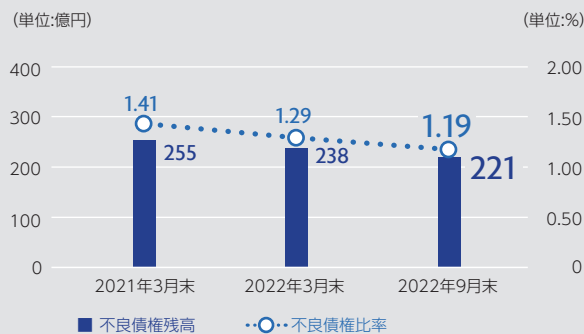
2022年9月末は自己資本の額が前期末比12億円増加する一方、中小個人向け融資の増加等により自己資本比率は横ばいで推移し、単体自己資本比率は7.91%となりました。



自己資本比率：銀行が保有する資産に対する自己資本(コア資本)の割合で、健全性を示す指標です。当行は海外に営業拠点を持たない為、国内基準が適用され、4%以上を義務付けられております。

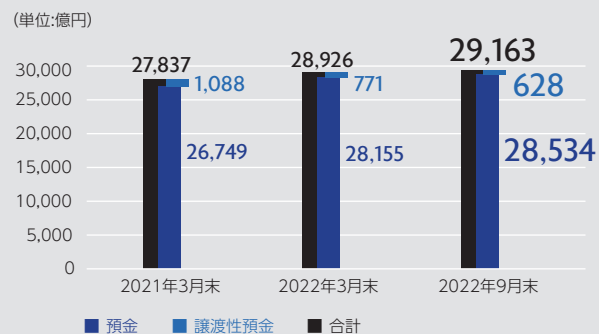
不良債権

2022年9月末の不良債権残高は、不良債権処理を進めたことで前年度末比16億円減少し、221億円となりました。また、総与信に占める割合は、前年度末比0.10ポイント改善して1.19%となりました。



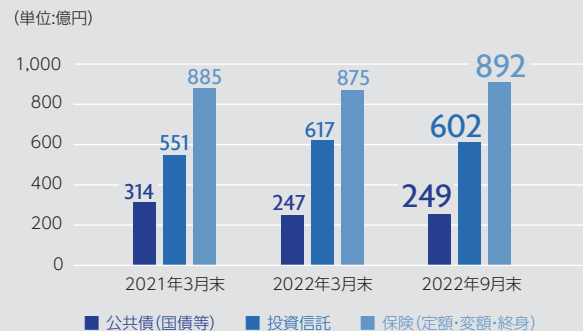
預金等

譲渡性預金を含む預金等は、個人・金融が増加したことから、全体で期中237億円増加し期末残高は2兆9,163億円となりました。



預り資産

公共債(国債等)は、期中2億円増加し期末残高は249億円となりました。投資信託は期中15億円減少し期末残高は602億円となりました。保険(定額・変額・終身・養老)は、期中17億円増加し期末残高は892億円となりました。



公共債(国債等)：額面ベース 投資信託：純資産残高ベース(口数×基準価額+1万円)
保険(定額・変額・終身)：払込保険料の合計額

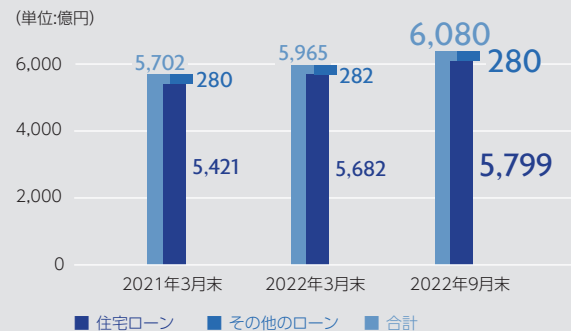
貸出金

貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出が増加したことから、期中144億円増加し期末残高は1兆8,385億円となりました。



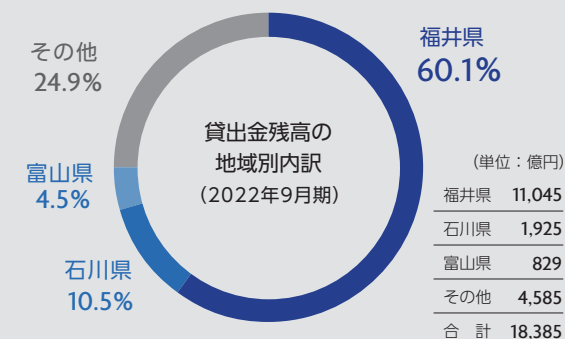
消費者ローン

消費者ローンは、期中115億円増加して期末残高は6,080億円となりました。うち住宅ローンは、期中117億円増加して期末残高は5,799億円となりました。



貸出金残高の地域別内訳

北陸3県内での貸出金は1兆3,799億円、(うち福井県内1兆1,045億円)であり、貸出金全体の75.1%(うち福井県内60.1%)となっております。



中小企業等向け貸出金

中小企業等向け貸出金残高は期中180億円増加し1兆2,136億円となり、総貸出金残高の66.0%となりました。また、貸出先は、期中142先減少し72,010先となりました。





当行の概要

名称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)
所在地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号
電話	0776-24-2030(代表)
ホームページ	https://www.fukuibank.co.jp/
設立年月日	1899年12月19日
資本金	179億65百万円
従業員数	1,318名(出向者、嘱託および臨時職員含めず)
店舗	有人店舗数／72か店 店舗内店舗数／23か店 その他／3か店 合計／98か店 ※店舗内店舗:他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他:振込専用支店、ジュラチック王国支店 (インターネット支店)、小浜支店名田庄営業室 (毎週水曜日(休祝日除く)のみ営業) 店舗外自動機設備／97か所 (ATM運営会社・セブン銀行・ローソン銀行との 共同設置を除く)
主要勘定	預金等残高 2兆9,163億円 貸出金残高 1兆8,385億円 有価証券残高 6,463億円
株式の状況	発行済株式総数 24,144千株 株主数 8,585名

(2022年9月30日現在)



「FUKUI BANK REPORT 2022」(統合報告書)では、
福井銀行の財務・非財務情報を統合的にご確認いただけます。



個人投資家さま向け会社説明会の
動画をご覧ください。

